

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2007-302807(P2007-302807A)

【公開日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-045

【出願番号】特願2006-133652(P2006-133652)

【国際特許分類】

C 0 9 B 31/08 (2006.01)

C 0 9 B 31/22 (2006.01)

C 0 9 K 19/54 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

C 0 9 B 31/08 C L A

C 0 9 B 31/22 C S P

C 0 9 K 19/54 A

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 1

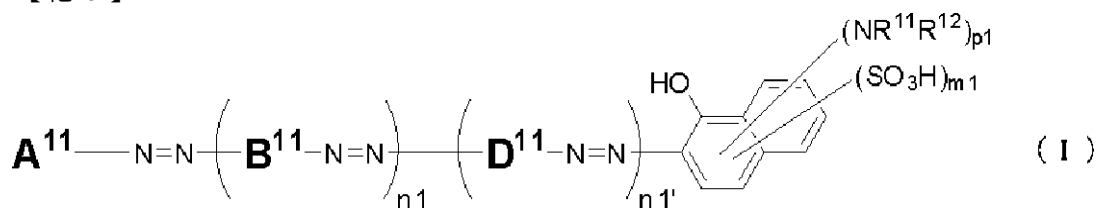
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 1】

遊離酸の形が下記式 (I) で表されるアゾ色素。

【化 6】

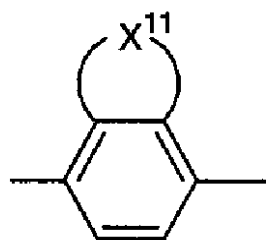


〔式 (I) 中、 A^{11} は、置換基を有していてもよい芳香族炭化水素基または置換基を有していてもよい芳香族複素環基を表す。但し、 A^{11} が芳香族炭化水素基のときは、該芳香族炭化水素基が、置換基を有していてもよいアミノ基で置換されることはない。

$n1$ 及び $n1'$ は、それぞれ独立に、0 または 1 を表し、 $n1+n1'$ は 1 または 2 である。

B^{11} および D^{11} は、それぞれ独立に、置換基を有していてもよい 2 価の芳香族炭化水素基または下記式 (I - a) で表される 2 価の複素環基を表すが、 B^{11} および D^{11} のうち少なくとも 1 つは下記式 (I - a) で表される 2 価の複素環を表し、また、 $n1+n1'$ が 1 の場合、 B^{11} 及び D^{11} は下記式 (I - a) で表される 2 価の複素環基である。

【化 7】



(I - a)

(式中、 X^{11} は主鎖に窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を含み、5～7員環を形成する2価の連結基を表し、 X^{11} が結合しているベンゼン環は置換基を有していてもよい。)

R^{11} および R^{12} は、それぞれ独立に、水素原子、置換基を有していてもよいアルキル基、置換基を有していてもよいフェニル基、置換基を有していてもよいアシル基または置換基を有していてもよいトリアジニル基を表す。

$m1$ は、1または2を表し、 $p1$ は0または1を表す。]

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

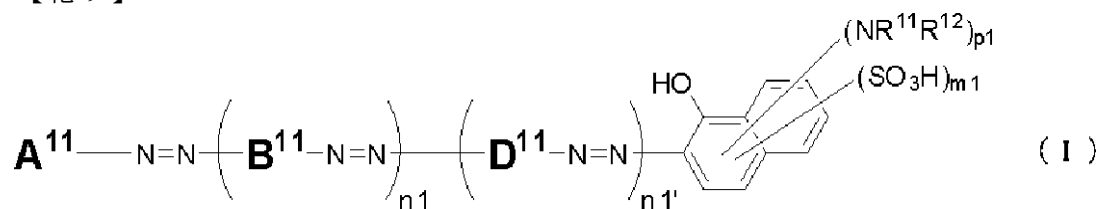
【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【化 9】



(I)

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

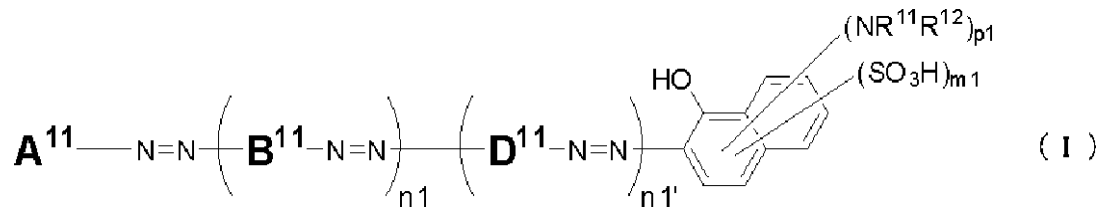
【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

【化 17】



(I)